

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6283178号  
(P6283178)

(45) 発行日 平成30年2月21日(2018.2.21)

(24) 登録日 平成30年2月2日(2018.2.2)

(51) Int.Cl.

F I

B 2 6 D 7/18 (2006.01)

B 2 6 D 7/18

E

B 2 6 D 1/08 (2006.01)

B 2 6 D 1/08

請求項の数 5 (全 18 頁)

(21) 出願番号 特願2013-152078 (P2013-152078)  
 (22) 出願日 平成25年7月22日(2013.7.22)  
 (65) 公開番号 特開2015-20259 (P2015-20259A)  
 (43) 公開日 平成27年2月2日(2015.2.2)  
 審査請求日 平成28年7月21日(2016.7.21)

(73) 特許権者 000208743  
 キヤノンファインテックニスカ株式会社  
 埼玉県三郷市中央1丁目14番地1  
 (74) 代理人 100098589  
 弁理士 西山 善章  
 (74) 代理人 100098062  
 弁理士 梅田 明彦  
 (74) 代理人 100131196  
 弁理士 松本 武信  
 (72) 発明者 山田 博之  
 山梨県南巨摩郡富士川町小林430番地1  
 ニスカ株式会社内  
 (72) 発明者 小林 拓磨  
 山梨県南巨摩郡富士川町小林430番地1  
 ニスカ株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 シート断裁装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

断裁対象のシートが載置される略水平な状態で鉛直方向上方に向いている載置面を有する台と、

前記台の一つの端部に設けられた帯状の固定刃と、

鉛直方向上方から鉛直方向下方に移動し前記固定刃と協働して、前記載置面に載置された前記シートを断裁する板状の可動刃と、

前記固定刃及び可動刃を挟んで前記載置面と対向する位置に設けられ前記固定刃及び可動刃によって断裁される屑を一時的に支持する補助部と、

前記可動刃の前記固定刃と接触する面の裏側に固定され、前記補助部に付着した前記屑を掻き落とし掻き落とし部と、  
 を備えるシート断裁装置。

【請求項2】

前記掻き落とし部の形状は、板状であって、

前記掻き落とし部は、前記台の前記載置面が略水平な状態で鉛直方向上方に向いている場合に略水平となるように設けられている、

請求項1に記載のシート断裁装置。

【請求項3】

前記掻き落とし部の形状は、板状であって、

前記掻き落とし部は、前記可動刃に揺動可能に取り付けられている、

10

20

請求項 1 に記載のシート断裁装置。

【請求項 4】

前記補助部は、画像形成装置によって処理された前記シートを前記台の前記載置面に案内する機能を有し、

前記掻き落とし部は、前記補助部が前記シートを前記台の前記載置面に案内する場合に前記シートに接触しない位置に設けられている、

請求項 2 に記載のシート断裁装置。

【請求項 5】

前記補助部は、画像形成装置によって処理された前記シートを前記台の前記載置面に案内する機能を有し、

前記掻き落とし部は、前記補助部が前記シートを前記台の前記載置面に案内する場合に前記シートに接触する位置に設けられている、

請求項 3 に記載のシート断裁装置。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、シートを断裁するシート断裁装置に関する。

【背景技術】

【0002】

従来、製本すること等を目的として、シートを断裁するシート断裁装置が用いられている（例えば、特許文献 1 参照）。従来のシート断裁装置は、断裁対象のシートが載置される台と、台に設けられた帯状の固定刃と、固定刃と協働してシートを断裁する可動刃とを有する。従来のシート断裁装置では、断裁対象のシートが台に載置され、シートのうちの台からはみ出た部位は補助部によって補助的に支持され、固定刃と可動刃とが協働して台に載置されたシートを断裁する。断裁によって生じた屑は、落下して屑箱に収められる。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献 1】特開 2010 - 247237 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

従来のシート断裁装置による断裁によって生じた屑の多くは、落下して屑箱に収められる。しかしながら、屑は帯電している場合があり、その場合、屑は、台に載置されたシートのうちの台からはみ出た部位を補助的に支持する補助部に付着することがある。屑が補助部に付着すると、次の断裁処理時において不具合を生じさせる場合がある。例えば、屑が補助部からはみ出した状態で補助部に付着すると、断裁対象のある部位がその他の部位より僅かに厚くなり、それにより、次の断裁処理時において可動刃が蛇行したり滑ったりして断裁処理に不具合を生じさせる場合がある。台に載置されたシートのうちの台からはみ出た部位を補助的に支持する補助部にシートを断裁することによって生じた屑が付着した場合に補助部から屑を取り除くシート断裁装置が提供されることが求められている。

【0005】

本発明は、台に載置されたシートのうちの台からはみ出た部位を補助的に支持する補助部にシートを断裁することによって生じた屑が付着した場合に補助部から屑を取り除くシート断裁装置を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0006】

本発明に係るシート断裁装置は、断裁対象のシートが載置される略水平な状態で鉛直方向上方に向いている載置面を有する台と、前記台の一つの端部に設けられた帯状の固定刃と、鉛直方向上方から鉛直方向下方に移動し前記固定刃と協働して、前記載置面に載置さ

10

20

30

40

50

れた前記シートを断裁する板状の可動刃と、前記固定刃及び可動刃を挟んで前記載置面と対向する位置に設けられ前記固定刃及び可動刃によって断裁される屑を一時的に支持する補助部と、前記可動刃の前記固定刃と接触する面の裏側に固定され、前記補助部に付着した前記屑を掻き落とす掻き落とし部と、を備える。

【0008】

掻き落とし部の形状は板状であって、掻き落とし部は、台の載置面が略水平な状態で鉛直方向上方に向いている場合に略水平となるように設けられていてもよい。

【0009】

掻き落とし部の形状は板状であって、掻き落とし部は、可動刃に揺動可能に取り付けられていてもよい。

【0010】

掻き落とし部は、導電性を有していてもよい。

【0011】

掻き落とし部は、ブラシであってもよいし、布であってもよい。

【0012】

補助部は、画像形成装置によって処理されたシートを台の載置面に案内する機能を有し、掻き落とし部は、補助部がシートを台の載置面に案内する場合にシートに接触しない位置に設けられていてもよい。

【0013】

補助部は、画像形成装置によって処理されたシートを台の載置面に案内する機能を有し、掻き落とし部は、補助部がシートを台の載置面に案内する場合にシートに接触する位置に設けられていてもよい。

【発明の効果】

【0014】

本発明によれば、台に載置されたシートのうちの台からはみ出た部位を補助的に支持する補助部にシートを断裁することによって生じた屑が付着した場合に補助部から屑を取り除くことができる。

【図面の簡単な説明】

【0015】

【図1】本発明の実施の形態のシート断裁装置によって断裁されるシートの斜視図である。

【図2】本発明の実施の形態のシート断裁装置が断裁対象のシートを断裁している状況を簡単に示す図である。

【図3】本発明の実施の形態におけるシート断裁装置の斜視図である。

【図4】図3に示すシート断裁装置の正面図である。

【図5】図4に示すV-V線におけるシート断裁装置の断面図である。

【図6】図3に示すシート断裁装置の支持部の平面図である。

【図7】断裁対象のシートが本発明の実施の形態におけるシート断裁装置によって断裁された場合に屑がシート断裁装置のガイドプレートのガイド面に付着している状況を示す図である。

【図8】本実施の形態のシート断裁装置の掻き落とし部によってガイドプレートのガイド面に付着した屑が掻き落とされている状況を説明するための図である。

【図9A】従来のシート断裁装置がシートを断裁した場合に生じる屑が落下して屑箱に収められる状況を説明するための第1図である。

【図9B】従来のシート断裁装置がシートを断裁した場合に生じる屑が落下して屑箱に収められる状況を説明するための第2図である。

【図9C】従来のシート断裁装置がシートを断裁した場合に生じる屑が落下して屑箱に収められる状況を説明するための第3図である。

【図10A】本発明の実施の形態のシート断裁装置がシートを断裁した場合に生じる屑が落下して屑箱に収められる状況を説明するための第1図である。

【図１０Ｂ】本発明の実施の形態のシート断裁装置がシートを断裁した場合に生じる屑が落下して屑箱に収められる状況を説明するための第２図である。

【図１０Ｃ】本発明の実施の形態のシート断裁装置がシートを断裁した場合に生じる屑が落下して屑箱に収められる状況を説明するための第３図である。

【図１１】台形状の支持部の平面図である。

【図１２】一部にＬ字状の部位を含む支持部を有するシート断裁装置の斜視図である。

【図１３】図１２に示すシート断裁装置の一部にＬ字状の部位を含む支持部の平面図である。

【図１４】一部にＬ字状の部位を含む第２の支持部を有するシート断裁装置の斜視図である。

10

【図１５Ａ】図１４に示すシート断裁装置の一部にＬ字状の部位を含む第２の支持部の平面図である。

【図１５Ｂ】図１４に示すシート断裁装置の一部にＬ字状の部位を含む第２の支持部の側面図である。

【図１５Ｃ】図１４に示すシート断裁装置の一部にＬ字状の部位を含む第２の支持部の斜視図である。

【図１６】塊状の支持部の斜視図である。

【発明を実施するための形態】

【００１６】

以下に、本発明の実施の形態のシート断裁装置について図面を参照して説明する。本実施の形態のシート断裁装置の構成を説明する前に、本実施の形態のシート断裁装置の動作を簡単に説明する。図１は、本発明の実施の形態のシート断裁装置によって断裁されるシートＳの斜視図である。多くの場合、シートＳは紙であって、本実施の形態のシート断裁装置は重ねられた複数枚のシートＳを断裁する。図１は、複数枚のシートＳが重ねられた状況を示している。

20

【００１７】

シートＳのうちのシート断裁装置によって断裁される部位は、破線で示されている切断線ＣＬである。切断線ＣＬは直線である。本実施の形態のシート断裁装置は、シートＳを、シートＳのある一つの端部としての切断線ＣＬの一方の端部ＣＬ１から、シートＳの別の一つの端部としての切断線ＣＬの他方の端部ＣＬ２に向かって順に断裁する。シートＳにおいて、切断線ＣＬによって区切られている二つの領域のうちの大きい領域Ｅは、シート断裁装置による断裁の後に製本等に有効に使用される部位である。切断線ＣＬによって区切られている二つの領域のうちの小さい領域Ｆは、シート断裁装置による断裁の後に屑となる部位である。

30

【００１８】

図２は、本発明の実施の形態のシート断裁装置が断裁対象のシートＳを断裁している状況を簡単に示す図である。本実施の形態のシート断裁装置は後述の通り可動刃５を有しており、図２では、断裁動作を簡単に説明するために、可動刃５及びシートＳのみが示されている。図２には切断線ＣＬの一方の端部ＣＬ１は示されていないが、図１を用いて説明した通り、本実施の形態のシート断裁装置は、シートＳを、切断線ＣＬの一方の端部ＣＬ１から他方の端部ＣＬ２に向かって順に断裁する。そのため、図２に示す通り、帯状の屑Ｗが生成される。屑Ｗは、落下して後述の屑箱７に収められる。

40

【００１９】

次に、本発明の実施の形態のシート断裁装置の構成を説明する。図３は、本発明の実施の形態におけるシート断裁装置１の斜視図である。図４は、図３に示すシート断裁装置１の正面図である。図５は、図４に示すＶ－Ｖ線におけるシート断裁装置１の断面図である。シート断裁装置１は、画像形成装置の後段に配置される装置であって、製本すること等を目的として、画像形成装置によって処理されたシートＳを断裁する。画像形成装置は、図示されていない。

【００２０】

50

図 3、4 及び 5 に示す通り、シート断裁装置 1 は、フレーム 2 と、台 3 と、固定刃 4 と、可動刃 5 と、ガイドプレート 6 と、屑箱 7 と、掻き落とし部 8 と、支持部 9 とを有する。フレーム 2 は、台 3 及び可動刃 5 が取り付けられるものである。台 3 は、断裁対象のシート S が載置されるものである。台 3 は載置面 3 1 を有しており、断裁対象のシート S はガイドプレート 6 による案内により画像形成装置から台 3 に搬送され、台 3 の載置面 3 1 に載置される。多くの場合、複数枚のシート S が台 3 の載置面 3 1 に載置される。

【 0 0 2 1 】

固定刃 4 は、台 3 の一つの端部に設けられた帯状の刃である。上述の通りシート断裁装置 1 は画像形成装置の後段に配置される装置であって、固定刃 4 は、台 3 の端部のうちの画像形成装置に最も近い端部に設けられている。可動刃 5 は、固定刃 4 と協働して、台 3 の載置面 3 1 に載置されたシート S を断裁する板状の刃であって、第 1 回転部材 1 1 及び第 2 回転部材 1 2 によってフレーム 2 に取り付けられている。

10

【 0 0 2 2 】

フレーム 2 は、背面側において、第 1 回転部材 1 1 及び第 2 回転部材 1 2 を同期して回転させるためのチェーンを有している。フレーム 2 は、チェーンを回転させるモータも有している。チェーンがモータによって回転し、チェーンが回転することによって第 1 回転部材 1 1 及び第 2 回転部材 1 2 が同期して回転し、それにより、板状の可動刃 5 はある一つの平面上で回転する。

【 0 0 2 3 】

具体的には、台 3 の載置面 3 1 が水平な状態で鉛直上方に向いている場合、図 2 に示すように板状の可動刃 5 はある一つの垂直面上で回転する。その際、可動刃 5 は、固定刃 4 の一端 4 1 の側から他端 4 2 の側に順に固定刃 4 と近接し、固定刃 4 と協働して、台 3 の載置面 3 1 に載置されたシート S を、シート S のある一つの端部から別の一つの端部に向かって順に断裁する。更に言うと、台 3 の載置面 3 1 が水平な状態で鉛直上方に向いている場合、可動刃 5 は固定刃 4 に近づく状況において鉛直上方から鉛直下方に動きながらシート S を断裁する。なお、固定刃 4 の一端 4 1 は図 3、4 及び 5 には明確に示されていないが、上述の通り固定刃 4 は台 3 の一つの端部に設けられた帯状の刃であって、固定刃 4 の他端 4 2 が図 3 及び 4 において明確に示されているので、固定刃 4 の一端 4 1 を容易に理解することができる。板状の可動刃 5 は、幅が固定刃 4 の一端 4 1 に近いほど広く、固定刃 4 の他端 4 2 に近いほど狭い台形状の刃である。

20

30

【 0 0 2 4 】

ガイドプレート 6 は、断裁対象のシート S を台 3 の載置面 3 1 に案内するものである。上述の通り、シート断裁装置 1 は画像形成装置の後段に配置されている。そのため、ガイドプレート 6 は、画像形成装置によって処理されたシート S を製本すること等を目的として断裁するために、画像形成装置によって処理されたシート S を台 3 の載置面 3 1 に案内する。ガイドプレート 6 は、台 3 の載置面 3 1 に載置された断裁対象のシート S のうちの台 3 からはみ出た部位を補助的に支持する補助部としても機能する。

【 0 0 2 5 】

ガイドプレート 6 のうちの断裁対象のシート S を台 3 の載置面 3 1 に案内する面（以下、「ガイド面」と記載する。）6 1 は、シート S を台 3 の載置面 3 1 に案内する場合、載置面 3 1 を含む平面内に位置する。シート S が固定刃 4 と可動刃 5 とによって断裁される場合、上述の通り可動刃 5 は鉛直上方から鉛直下方に動きながらシート S を断裁する。そのため、シート S が断裁される場合、ガイド面 6 1 は可動刃 5 と接触しないように、可動刃 5 の動きと連動して鉛直下方に倒れる。

40

【 0 0 2 6 】

屑箱 7 は、台 3 の載置面 3 1 が水平な状態で鉛直上方に向いている場合に固定刃 4 より鉛直下方となる位置に配置されている。更に言うと、屑箱 7 は、上述の場合にガイドプレート 6 の鉛直下方に配置されている。屑箱 7 は、固定刃 4 と可動刃 5 とによる断裁によって生じて落下してくるシート S の帯状の屑 W が収められる直方体状の箱である。屑箱 7 には、上述の場合において鉛直上方に位置する開口が形成されており、屑 W は開口から屑箱

50

7の内部に収められる。屑箱7において固定刃4と平行な辺の長さは、シートSにおける切断線CLの長さよりわずかに長いだけである。屑箱7の深さは、例えば切断線CLの3分1程度であって浅い。つまり、屑箱7は小さい。

【0027】

掻き落とし部8は、可動刃5の固定刃4と接触しない側の面を含む面から台3の外側の向きに突出するように設けられており、可動刃5の動きと連動して動く。台3の外側の向きとは、台3の内側から外側への向きを意味する。より具体的には、掻き落とし部8の形状は板状であって、掻き落とし部8は、可動刃5と直交した状態が維持するように、可動刃5に固定された状態で設けられている。

【0028】

更に言うと、掻き落とし部8は、導電性を有する材料によって形成されたブラシである。掻き落とし部8は、台3の載置面31が水平な状態で鉛直上方に向いている場合、鉛直上方から鉛直下方に動き、固定刃4と可動刃5とによる断裁によって生じてガイドプレート6のガイド面61に付着したシートSのうちの帯状の屑Wを掻き落とす。なお、掻き落とし部8は、ガイドプレート6が断裁対象のシートSを台3の載置面31に案内する場合にシートSに接触しない位置に設けられている。

【0029】

支持部9は、固定刃4の一端41と他端42との間において、台3の載置面31が水平な状態で鉛直上方に向いている場合に固定刃4より鉛直下方に位置すると共に、固定刃4より鉛直下方に配置される屑箱7の最上部より鉛直上方に位置している。具体的には、支持部9は、台3の載置面31が水平な状態で鉛直上方に向いている場合にフレーム2の底面となる部位に設けられている。フレーム2の底面は、屑箱7の最上部より鉛直上方に位置している。加えて、支持部9は、台3の載置面31とは異なる外面のうちの固定刃4の一端41及び他端42を含む平面から台3の外側に突出するように設けられている。台3の外側に突出するとは、台3の内側から外側への向きに突出することを意味する。

【0030】

図6は、図3に示すシート断裁装置1の支持部9の平面図である。支持部9はフィルムである。支持部9は例えばポリエステルによって形成されている。支持部9の形状は櫛状であり、図3、4及び6に示す通り、支持部9は複数の歯91, 92, 93を有している。複数の歯91, 92, 93は、台3の載置面31とは異なる外面のうちの固定刃4の一端41及び他端42を含む平面から台3の外側に突出するように設けられている。加えて、複数の歯91, 92, 93のそれぞれは、台3の載置面31が水平な状態で鉛直上方に向いている場合に鉛直方向に重ならないように設けられている。図6は、その場合において支持部9を鉛直上方から鉛直下方の向きに見た状態を示している。すなわち、図6は支持部9の上面図である。

【0031】

さらに、複数の歯91, 92, 93は、台3の載置面31が水平な状態で鉛直上方に向いている場合に水平な状態から鉛直下方に姿勢を変える機能と復元する機能とを有する。支持部9は固定部94を有しており、複数の歯91, 92, 93は固定部94から突出するように設けられている。固定部94は、フレーム2の底面に貼り付けられている。固定部94は、例えば接着剤によってフレーム2の底面に貼り付けられている。固定部94がフレーム2の底面に貼り付けられることにより、支持部9はフレーム2に取り付けられている。なお、固定部94は、ネジ等によりフレーム2の底面に取り付けられてもよい。

【0032】

図4及び6に示す通り、支持部9の側部のうちの固定刃4の一端41の側の側部は、すなわち、支持部9の歯91は、台3の載置面31とは異なる外面のうちの固定刃4の一端41及び他端42を含む平面と直交している。支持部9の側部のうちの固定刃4の他端42の側の側部も、すなわち、支持部9の歯93も、上述の平面と直交している。図2を用いて説明した通り固定刃4と可動刃5とによる断裁によって帯状の屑Wが生じ、屑Wは落下する。支持部9は、落下してくる帯状の屑Wの一部を一時的に支持する。

## 【 0 0 3 3 】

次に、シートSを断裁した場合に生じる屑Wが落下して屑箱7に収められる状況等を説明する。図1及び2を用いて説明したように、シート断裁装置1は、重ねられた複数のシートSを、切断線CLの一方の端部CL1から他方の端部CL2に向かって順に断裁する。そのため、帯状の屑Wが生成される。屑Wは、ガイドプレート6のガイド面61に静電気等によって付着する場合がある。図7は、断裁対象のシートSが本発明の実施の形態におけるシート断裁装置1によって断裁された場合に屑Wがシート断裁装置1のガイドプレート6のガイド面61に付着している状況を示す図である。

## 【 0 0 3 4 】

更に言うと、図7は、シートSが断裁され、可動刃5が鉛直上方から鉛直下方に動くのに連動してガイドプレート6のガイド面61が鉛直下方に倒れようとしている状況を示している。本実施の形態のシート断裁装置1は、掻き落とし部8を有する。上述の通り、掻き落とし部8は可動刃5に設けられている。そのため、シートSの断裁処理が行われる場合、可動刃5が鉛直上方から鉛直下方に動くので、掻き落とし部8も鉛直上方から鉛直下方に動く。

10

## 【 0 0 3 5 】

掻き落とし部8は、シートSの断裁処理が行われる場合に鉛直上方から鉛直下方に動くので、図8に示すように、ガイドプレート6のガイド面61に付着した屑Wを掻き落とす。図8は、本実施の形態のシート断裁装置1の掻き落とし部8によってガイドプレート6のガイド面61に付着した屑Wが掻き落とされている状況を説明するための図である。すなわち、図8に示すように、本実施の形態のシート断裁装置1を用いれば、ガイドプレート6に付着した屑Wを取り除くことができる。

20

## 【 0 0 3 6 】

上述の通り、掻き落とし部8は、導電性を有する材料によって形成されているので、帯電した屑Wに対して除電を行うことができる。そのため、掻き落とし部8は、ガイド面61に付着した屑Wをより容易に掻き落とすことができる。加えて、掻き落とし部8は、ブラシであるのでガイド面61に付着した屑Wをこすることができる。そのため、掻き落とし部8は、ガイド面61に付着した屑Wをより容易に掻き落とすことができる。なお、掻き落とし部8は、ガイドプレート6が断裁対象のシートSを台3の載置面31に案内する場合にシートSに接触しない位置に設けられている。そのため、掻き落とし部8により断裁対象のシートSを損傷する可能性を低くすることができる。

30

## 【 0 0 3 7 】

次に、シートSを断裁した場合に生じる屑Wが落下して屑箱7に収められる状況を説明する。図1及び2を用いて説明したように、シート断裁装置1による断裁により、帯状の屑Wが生成される。従来のシート断裁装置は、本実施の形態のシート断裁装置1が有する支持部9を有していない点で本実施の形態のシート断裁装置1と異なるが、従来のシート断裁装置も本実施の形態のシート断裁装置1と同様にシートSを断裁し、それにより帯状の屑Wが生成される。

## 【 0 0 3 8 】

図9A、9B及び9Cを用いて、従来のシート断裁装置がシートSを断裁した場合に生じる屑Wが落下して屑箱7に収められる状況を説明する。図9Aは従来のシート断裁装置がシートSを断裁した場合に生じる屑Wが落下して屑箱7に収められる状況を説明するための第1図であり、図9Bは従来のシート断裁装置がシートSを断裁した場合に生じる屑Wが落下して屑箱7に収められる状況を説明するための第2図であり、図9Cは従来のシート断裁装置がシートSを断裁した場合に生じる屑Wが落下して屑箱7に収められる状況を説明するための第3図である。

40

## 【 0 0 3 9 】

図9AはシートSの断裁処理の最初の方の状況を示しており、図9Bは断裁処理の終了直前の状況を示しており、図9Cは断裁処理が終了した後の状況を示している。図9A、9B及び9Cは従来のシート断裁装置の正面側を示しており、図9A、9B及び9Cでは

50

、説明を簡単にするために、固定刃 4、可動刃 5、屑箱 7 及び屑 W のみが示されている。屑箱 7 は内部を示すために破線により示されている。断裁により生じた屑 W と、シート S のうちの断裁により屑 W となる部位とは、斜線により示されている。なお、図 9 A、9 B 及び 9 C では、断裁処理をよりわかりやすくするために、可動刃 5 の動きを誇張して示している。

【 0 0 4 0 】

図 9 A 及び 9 B に示すように、シート S のうちのまさに断裁されようとする部位は、固定刃 4 と可動刃 5 とによって挟まれて固定刃 4 と可動刃 5 とによって支持される。断裁によって生じた屑 W は、重力により鉛直下方に垂れ下がる。したがって、図 9 B に示すように、断裁の終了直前においては、シート S における切断線 C L の他方の端部 C L 2 が固定刃 4 と可動刃 5 とによって支持されるので、断裁によって生じた屑 W はシート S から離れることなく固定刃 4 の他端 4 2 の鉛直下方寄りに位置する。

【 0 0 4 1 】

そのため、図 9 C に示すように、断裁が終了すると、屑 W は固定刃 4 の他端 4 2 の鉛直下方に偏った状態で落下して屑箱 7 に収められる。上述の通り屑箱 7 は小さいので、屑 W のうちの最後の方に生じた部位は、固定刃 4 の他端 4 2 の鉛直下方の近傍において屑箱 7 からあふれる。

【 0 0 4 2 】

それに対し、本実施の形態のシート断裁装置 1 は支持部 9 を有する。図 1 0 A、1 0 B 及び 1 0 C を用いて、支持部 9 を有するシート断裁装置 1 がシート S を断裁した場合に生じる屑 W が落下して屑箱 7 に収められる状況を説明する。図 1 0 A は本発明の実施の形態のシート断裁装置 1 がシート S を断裁した場合に生じる屑 W が落下して屑箱 7 に収められる状況を説明するための第 1 図であり、図 1 0 B は本発明の実施の形態のシート断裁装置 1 がシート S を断裁した場合に生じる屑 W が落下して屑箱 7 に収められる状況を説明するための第 2 図であり、図 1 0 C は本発明の実施の形態のシート断裁装置 1 がシート S を断裁した場合に生じる屑 W が落下して屑箱 7 に収められる状況を説明するための第 3 図である。

【 0 0 4 3 】

図 1 0 A はシート S の断裁処理の最初の方の状況を示しており、図 1 0 B は断裁処理の終了直前の状況を示しており、図 1 0 C は断裁処理が終了した後の状況を示している。図 1 0 A、1 0 B 及び 1 0 C は本実施の形態のシート断裁装置 1 の正面側を示しており、図 1 0 A、1 0 B 及び 1 0 C では、説明を簡単にするために、固定刃 4、可動刃 5、屑箱 7、支持部 9 及び屑 W のみが示されている。屑箱 7 は内部を示すために破線により示されている。断裁により生じた屑 W と、シート S のうちの断裁により屑 W となる部位とは、斜線により示されている。なお、図 1 0 A、1 0 B 及び 1 0 C では、断裁処理をよりわかりやすくするために、可動刃 5 の動きを誇張して示している。

【 0 0 4 4 】

図 1 0 A 及び 1 0 B に示すように、シート S のうちのまさに断裁されようとする部位は、固定刃 4 と可動刃 5 とによって挟まれて固定刃 4 と可動刃 5 とによって支持される。断裁によって生じた屑 W は重力により鉛直下方に垂れ下がるが、本実施の形態のシート断裁装置 1 は支持部 9 を有しており、支持部 9 が、より具体的には支持部 9 の複数の歯 9 1、9 2、9 3 が、断裁によって生じて垂れ下がってくる屑 W の一部を一時的に支持する。そのため、図 1 0 B に示すように、断裁の終了直前においても、断裁によって生じた屑 W は固定刃 4 の他端 4 2 の鉛直下方寄りに偏らない。その結果、図 1 0 C に示すように、断裁が終了すると、屑 W は固定刃 4 の他端 4 2 の鉛直下方に偏った状態で落下せず、偏在がより小さい状態で屑箱 7 に収められる。

【 0 0 4 5 】

更に言うと、上述の通り、支持部 9 の側部のうちの固定刃 4 の一端 4 1 の側の側部は、すなわち、支持部 9 の歯 9 1 は、台 3 の載置面 3 1 とは異なる外面のうちの固定刃 4 の一端 4 1 及び他端 4 2 を含む平面と直交している。その構成により、断裁によって生じて垂

10

20

30

40

50



れ下がってくる屑Wの一部は、支持部9の複数の歯91, 92, 93に引っ掛かる可能性が高くなる。そのため、支持部9は、より具体的には複数の歯91, 92, 93は、断裁によって生じて垂れ下がってくる屑Wの一部を一時的に支持することを容易に行うことができる。

【0046】

また、支持部9の側部のうちの固定刃4の他端42の側の側部も、すなわち、支持部9の歯93も、台3の載置面31とは異なる外面のうちの固定刃4の一端41及び他端42を含む平面と直交している。その構成により、支持部9の複数の歯91, 92, 93は断裁によって生じて垂れ下がって一時的に支持した屑Wを、断裁の終了時に鉛直下方に滑らせて屑箱7に収めることを容易に行うことができる。

10

【0047】

さらにまた、支持部9の複数の歯91, 92, 93は、断裁によって生じて垂れ下がってくる屑Wを一時的に支持した場合、屑Wの重さにより、台3の載置面31が水平な状態で鉛直上方に向いている場合に水平な状態から鉛直下方に姿勢を変える。その構成により、支持部9の複数の歯91, 92, 93は、断裁によって生じて垂れ下がって一時的に支持した屑Wを、断裁の終了時に鉛直下方に滑らせて屑箱7に収めることを容易に行うことができる。なお、支持部9は、フィルムによって形成されているので、屑Wを一時的に支持する場合は屑Wの重さにより水平な状態から鉛直下方に姿勢を変えるが、屑Wが屑箱7に落下した後に復元する。そのため、支持部9が断裁によって生じて垂れ下がってくる屑Wを一時的に支持する機能は維持される。

20

【0048】

上述の通り、本実施の形態のシート断裁装置1は支持部9を有するので、シート断裁装置1を用いれば、シートSのある一つの端部から別の一つの端部に向かってシートSを順に断裁しても、断裁によって生じた屑Wの偏在をより小さくして屑Wを屑箱7に収めることができる。その結果、屑Wが屑箱からあふれることを抑制でき、ひいては後続の断裁処理等において不具合を生じさせにくくすることができる。加えて、屑箱に収められた屑の回収の回数を抑制することができる。

【0049】

(変形例)

上述した実施の形態のシート断裁装置1における掻き落とし部8は、可動刃5の固定刃4と接触しない側の面に設けられている。しかしながら、掻き落とし部8は、可動刃5の固定刃4と接触しない側の面に設けられていなくてもよい。掻き落とし部8は、可動刃5の固定刃4と接触しない側において、可動刃5の固定刃4と接触しない側の面を含む面から台3の外側の向きに突出するように設けられており、可動刃5が鉛直上方から鉛直下方に動く場合に鉛直上方から鉛直下方に動いてガイドプレート6に付着した屑Wを掻き落とすものであればよい。

30

【0050】

したがって、掻き落とし部8の形状は板状でなくてもよいし、掻き落とし部8は、可動刃5と直交した状態が維持するように、可動刃5に固定された状態で設けられていなくてもよい。掻き落とし部8は、除電効果を有することが好ましいが、導電性を有する材料によって形成されていなくてもよい。掻き落とし部8は、ブラシではなく布であってもよい。掻き落とし部8は、可動刃5に揺動可能に取り付けられてもよい。掻き落とし部8は、ガイドプレート6が断裁対象のシートSを台3の載置面31に案内する場合にシートSに接触する位置に設けられてもよい。その場合、掻き落とし部8が除電効果を有していれば、台3の載置面31に案内される断裁対象のシートSを除電することができ、ひいては、屑Wがガイドプレート6に付着する可能性を低下させることができる。

40

【0051】

上述した実施の形態のシート断裁装置1は、櫛状の支持部9を有する。しかしながら、シート断裁装置1は櫛状の支持部9に替えて台形状の支持部9Aを有してもよい。図11は、台形状の支持部9Aの平面図である。台形状の支持部9Aは、フィルムであって、例

50

えばポリエステルによって形成されている。

【 0 0 5 2 】

台形状の支持部 9 A は、櫛状の支持部 9 における歯 9 1 , 9 2 , 9 3 と同様に、断裁によって生じて垂れ下がってくる屑 W の一部を一時的に支持する台形部 9 5 を有すると共に、櫛状の支持部 9 と同様に固定部 9 4 を有する。固定部 9 4 が接着剤又はネジ等によってフレーム 2 の底面に取り付けられることにより、台形状の支持部 9 A はフレーム 2 に取り付けられる。台形状の支持部 9 A は、台 3 の載置面 3 1 が水平な状態で鉛直上方に向いている場合に水平な状態から鉛直下方に姿勢を変える機能と復元する機能とを有する。

【 0 0 5 3 】

図 1 1 に示す通り、台形状の支持部 9 A の側部のうちの固定刃 4 の一端 4 1 の側の側部 9 6 は、台 3 の載置面 3 1 とは異なる外面のうちの固定刃 4 の一端 4 1 及び他端 4 2 を含む平面と直交している。台形状の支持部 9 A の側部のうちの固定刃 4 の他端 4 2 の側の側部の一部 9 7 は、固定刃 4 の一端 4 1 の側に倒れている。より詳細には、台形状の支持部 9 A の側部のうちの固定刃 4 の他端 4 2 の側の側部の一部 9 7 は、台 3 の載置面 3 1 と直交すると共に台 3 の載置面 3 1 とは異なる外面のうちの固定刃 4 の一端 4 1 及び他端 4 2 を含む平面と直交する平面であって固定刃 4 の一端 4 1 を含む平面の側に倒れている。

【 0 0 5 4 】

又は、シート断裁装置 1 は、櫛状の支持部 9 に替えて、一部に L 字状の部位を有する支持部 9 B を有してもよい。図 1 2 は一部に L 字状の部位を含む支持部 9 B を有するシート断裁装置 1 の斜視図であり、図 1 3 は図 1 2 に示すシート断裁装置 1 の一部に L 字状の部位を含む支持部 9 B の平面図である。支持部 9 B は、板状の部材であって、ABS 樹脂等の樹脂によって形成されていて変形しにくい。

【 0 0 5 5 】

一部に L 字状の部位を含む支持部 9 B は、櫛状の支持部 9 における歯 9 1 , 9 2 , 9 3 と同様に、断裁によって生じて垂れ下がってくる屑 W の一部を一時的に支持する L 字状部 9 8 を有すると共に、櫛状の支持部 9 と同様に固定部 9 4 を有する。固定部 9 4 が接着剤又はネジ等によってフレーム 2 の底面に取り付けられることにより、支持部 9 B はフレーム 2 に取り付けられる。支持部 9 B がフレーム 2 の底面に取り付けられた場合、支持部 9 B の L 字状部 9 8 は、台 3 の載置面 3 1 が水平な状態で鉛直上方に向いている場合に水平な状態から鉛直下方に傾斜している。例えば、支持部 9 B の L 字状部 9 8 は 4 5 ° 鉛直下方に傾斜している。

【 0 0 5 6 】

図 1 2 及び 1 3 に示す通り、支持部 9 B における L 字状部 9 8 の側部のうちの固定刃 4 の一端 4 1 の側の側部の一部 9 9 は、固定刃 4 の一端 4 1 の側に倒れている。より詳細には、L 字状部 9 8 の側部のうちの固定刃 4 の一端 4 1 の側の側部の一部 9 9 は、折れ曲がった状態で、台 3 の載置面 3 1 と直交すると共に台 3 の載置面 3 1 とは異なる外面のうちの固定刃 4 の一端 4 1 及び他端 4 2 を含む平面と直交する平面であって固定刃 4 の一端 4 1 を含む平面の側に倒れている。L 字状部 9 8 の側部のうちの固定刃 4 の他端 4 2 の側の側部 1 0 0 も、固定刃 4 の一端 4 1 の側に傾斜することにより倒れている。なお、支持部 9 B は、金属によって形成された板状の部材であってもよいし、ポリエステルによって形成されたフィルムであってもよい。また、フレーム 2 が金属によって形成されたものである場合、支持部 9 B はフレーム 2 と一体に形成されてもよい。

【 0 0 5 7 】

又は、シート断裁装置 1 は、櫛状の支持部 9 に替えて、一部に L 字状の部位を有する第 2 の支持部 9 C を有してもよい。図 1 4 は、一部に L 字状の部位を含む第 2 の支持部 9 C を有するシート断裁装置 1 の斜視図である。図 1 5 A は、図 1 4 に示すシート断裁装置 1 の一部に L 字状の部位を含む第 2 の支持部 9 C の平面図であり、図 1 5 B は、図 1 4 に示すシート断裁装置 1 の一部に L 字状の部位を含む第 2 の支持部 9 C の側面図であり、図 1 5 C は、図 1 4 に示すシート断裁装置 1 の一部に L 字状の部位を含む第 2 の支持部 9 C の斜視図である。図 1 5 B 及び 1 5 C において破線により示されている部位は、後述する L

字状部 9 8 が実質的に水平に位置している状態を示している。

【 0 0 5 8 】

一部に L 字状の部位を有する第 2 の支持部 9 C は、支持部 9 B と同様に L 字状部 9 8 及び固定部 9 4 を有する。L 字状部 9 8 は板状の部材であって、L 字状部 9 8 及び固定部 9 4 は、ABS 樹脂等の樹脂によって一体に形成されている。支持部 9 C は、ヒンジ 1 0 1 とバネ 1 0 2 とを有する取付部 1 0 3 を更に持つ。図 1 4、1 5 A、1 5 B 及び 1 5 C に示す通り、ヒンジ 1 0 1 は固定部 9 4 に取り付けられており、バネ 1 0 2 は L 字状部 9 8 及び固定部 9 4 の鉛直下方に取り付けられている。

【 0 0 5 9 】

支持部 9 B と同様に、固定部 9 4 が保持部としてのフレーム 2 の底面に取り付けられることにより、支持部 9 C はフレーム 2 に取り付けられる。その際、台 3 の載置面 3 1 が水平な状態で鉛直上方に向いている場合に L 字状部 9 8 が水平に位置し、バネ 1 0 2 が L 字状部 9 8 の鉛直下方に位置するように、支持部 9 C はフレーム 2 に取り付けられる。

【 0 0 6 0 】

又は、シート断裁装置 1 は、櫛状の支持部 9 に替えて、塊状の支持部 9 D を有してもよい。図 1 6 は、塊状の支持部 9 D の斜視図である。塊状の支持部 9 D の上面は、平面であって、台 3 の載置面 3 1 が水平な状態で鉛直上方に向いている場合に鉛直下方に傾斜している。加えて、塊状の支持部 9 D の側部のうちの固定刃 4 の一端 4 1 の側の側部の一部 1 0 4 は、固定刃 4 の一端 4 1 の側に倒れている。より詳細には、上記一部 1 0 4 は、折れ曲がった状態で、台 3 の載置面 3 1 と直交すると共に台 3 の載置面 3 1 とは異なる外面のうちの固定刃 4 の一端 4 1 及び他端 4 2 を含む平面と直交する平面であって固定刃 4 の一端 4 1 を含む平面の側に倒れている。

【 0 0 6 1 】

上述の通り、支持部 9 A、9 B、9 C 及び 9 D において、固定刃 4 の一端 4 1 の側の側部は台 3 の載置面 3 1 とは異なる外面のうちの固定刃 4 の一端 4 1 及び他端 4 2 を含む平面と直交しているか、固定刃 4 の一端 4 1 の側の側部の少なくとも一部は固定刃 4 の一端 4 1 の側に倒れている。その構成により、断裁によって生じて垂れ下がってくる屑 W は支持部 9 A、9 B、9 C 及び 9 D に引っ掛かり易くなる。すなわち、支持部 9 A、9 B、9 C 及び 9 D は、断裁によって生じて垂れ下がってくる屑 W の一部を一時的に支持することを容易に行うことができる。

【 0 0 6 2 】

また上述した通り、支持部 9 A、9 B、9 C 及び 9 D において、固定刃 4 の他端 4 2 の側の側部は台 3 の載置面 3 1 とは異なる外面のうちの固定刃 4 の一端 4 1 及び他端 4 2 を含む平面と直交しているか、固定刃 4 の他端 4 2 の側の側部の少なくとも一部は固定刃 4 の一端 4 1 の側に倒れている。その構成により、支持部 9 A、9 B、9 C 及び 9 D は、断裁によって生じて垂れ下がって一時的に支持した屑 W を、断裁の終了時に鉛直下方に滑らせて屑箱 7 に収めることを容易に行うことができる。

【 0 0 6 3 】

更にまた上述した通り、支持部 9 A 及び 9 C の一部は、断裁によって生じて垂れ下がってくる屑 W を一時的に支持した際、屑 W の重さにより、台 3 の載置面 3 1 が水平な状態で鉛直上方に向いている場合に水平な状態から鉛直下方に姿勢を変える。支持部 9 B 及び 9 D の上面は、鉛直下方に傾斜している。その構成により、支持部 9 A、9 B、9 C 及び 9 D は、断裁によって生じて垂れ下がって一時的に支持した屑 W を、断裁の終了時に鉛直下方に滑らせて屑箱 7 に収めることを容易に行うことができる。

【 0 0 6 4 】

なお、支持部 9 A はフィルムによって形成されているので、屑 W を一時的に支持する場合は屑 W の重さにより水平な状態から鉛直下方に姿勢を変えるが、屑 W が屑箱 7 に落下した後に復元する。そのため、支持部 9 A が垂れ下がってくる屑 W を一時的に支持する機能は維持される。支持部 9 C はバネ 1 0 2 を有しているため、支持部 9 C についての屑 W が屑箱 7 に落下した後に復元する機能は、支持部 9 及び 9 A よりも長期間にわたって維持さ

10

20

30

40

50

れる。

【 0 0 6 5 】

支持部は、上述したものに限定されず、例えば棒状のものであってもよい。

【 0 0 6 6 】

上述した実施の形態では、支持部 9 は、台 3 の載置面 3 1 が水平な状態で鉛直上方に向いている場合に固定刃 4 より鉛直下方に配置される屑箱 7 の最上部より鉛直上方に位置している。そのように、支持部は、上述の場合において屑箱 7 の底面より鉛直上方に位置する。例えば、支持部は屑箱 7 の内側面に設けられてもよい。

【 0 0 6 7 】

支持部は、アルミニウム等の導電性を有する材料により形成されてもよい。その場合、支持部は、断裁によって生じて垂れ下がって一時的に支持した屑 W が帯電していても除電を行うことができ、断裁の終了時に屑 W を屑箱 7 に収めることを容易に行うことができる。

10

【 0 0 6 8 】

上述した実施の形態では、可動刃 5 は板状の刃である。しかしながら、可動刃 5 は板状の刃でなくてもよい。

【 0 0 6 9 】

上述した実施の形態では、シート断裁装置 1 は画像形成装置の後段に配置される。しかしながら、本実施の形態のシート断裁装置 1 は画像形成装置の後段に配置されると限定されない。シート断裁装置 1 は画像形成装置の後段に配置される場合、ガイドプレート 6 は断裁対象のシート S を台 3 の載置面 3 1 に案内するが、シート断裁装置 1 は画像形成装置の後段に配置されない場合、ガイドプレート 6 は用いられなくてもよい。ただし、ガイドプレート 6 は台 3 の載置面 3 1 に載置された断裁対象のシート S のうちの台 3 からはみ出た部位を補助的に支持する補助部としても機能するので、シート断裁装置 1 は画像形成装置の後段に配置されない場合、ガイドプレート 6 の代替として、台 3 の載置面 3 1 に載置された断裁対象のシート S のうちの台 3 からはみ出た部位を補助的に支持する補助部が用いられる。

20

【 0 0 7 0 】

本発明は上述の実施の形態に限定されるものではなく、実施の形態は本発明の趣旨に基づき種々の変形が可能であり、変形例を本発明の技術的範囲から排除しない。

30

【産業上の利用可能性】

【 0 0 7 1 】

本発明は、製本時にシートを断裁するシート断裁装置に関するもので産業上の利用可能性を有する。

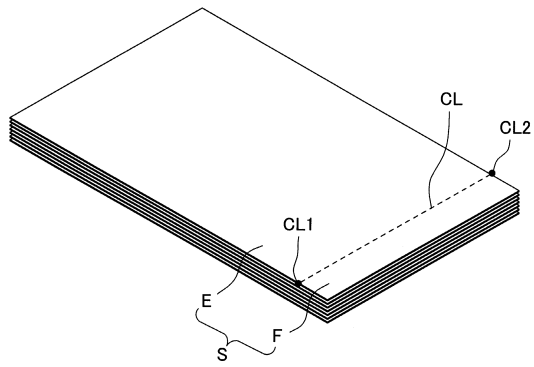
【符号の説明】

【 0 0 7 2 】

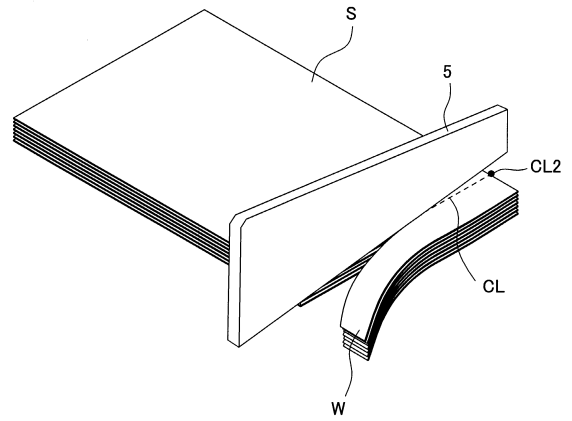
- 1 シート断裁装置
- 2 フレーム
- 3 台
- 4 固定刃
- 5 可動刃
- 6 ガイドプレート
- 7 屑箱
- 8 掻き落とし部
- 9 支持部
- 9 1 , 9 2 , 9 3 歯
- 3 1 載置面
- 4 1 一端
- 4 2 他端

40

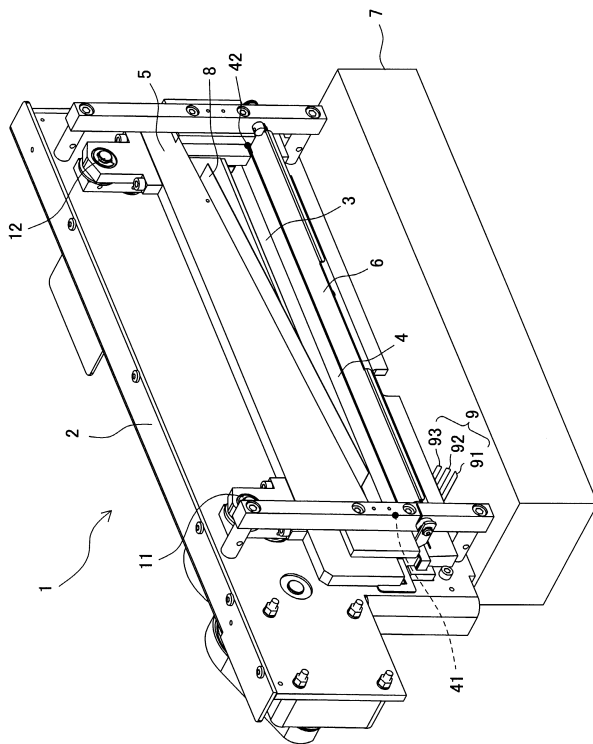
【図 1】



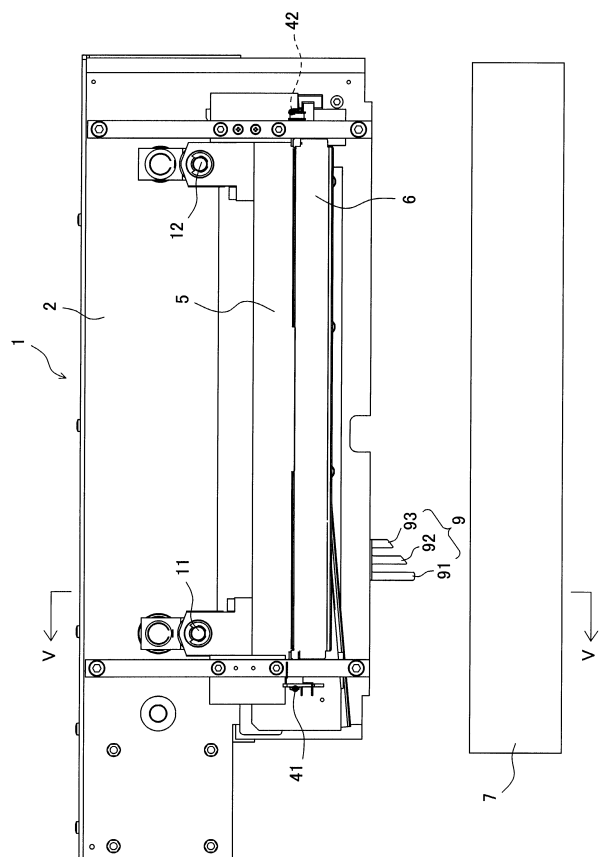
【図 2】



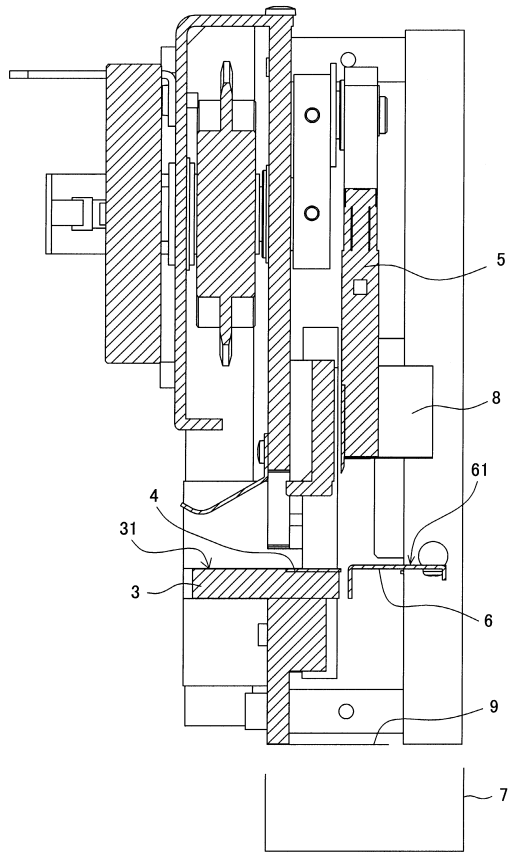
【図 3】



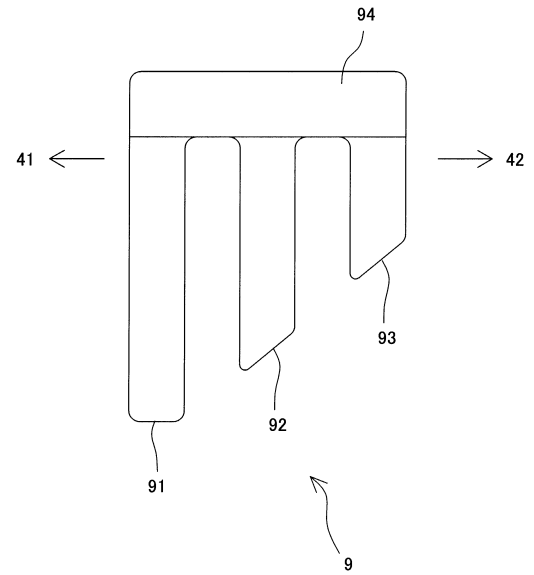
【図 4】



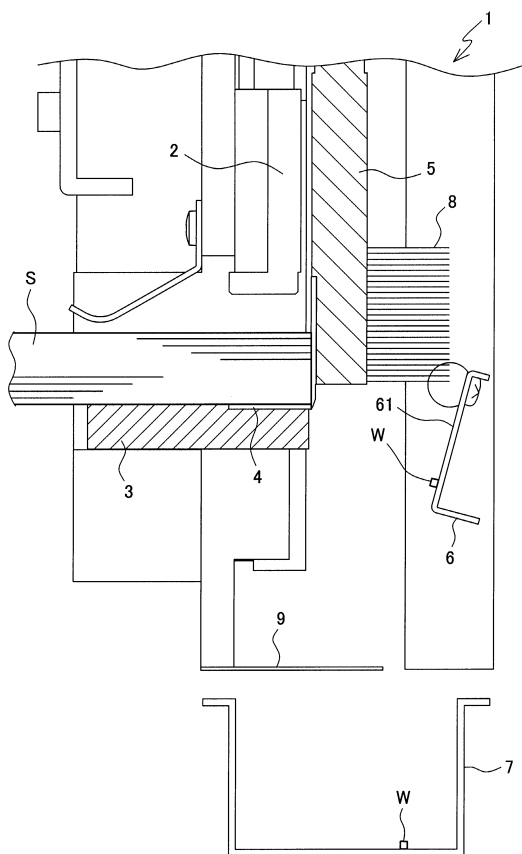
【図 5】



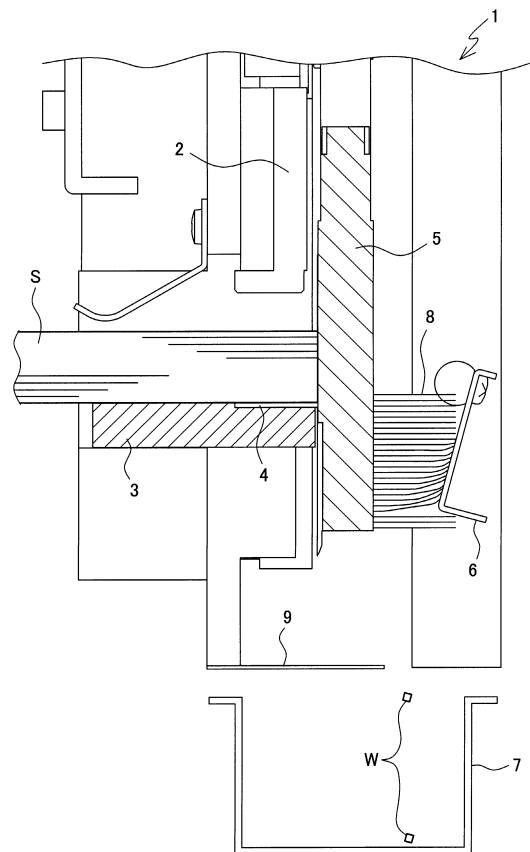
【図 6】



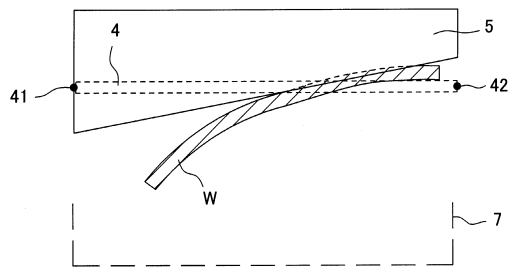
【図 7】



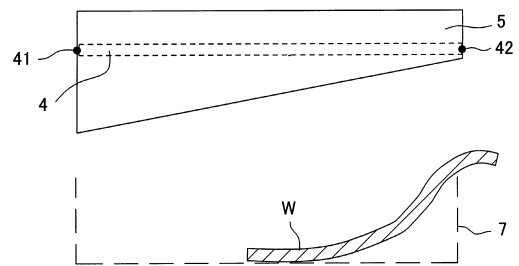
【図 8】



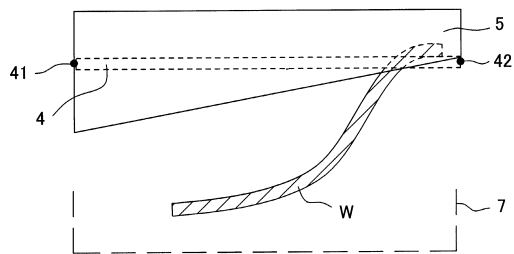
【図 9 A】



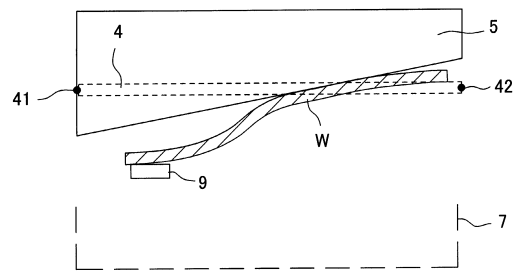
【図 9 C】



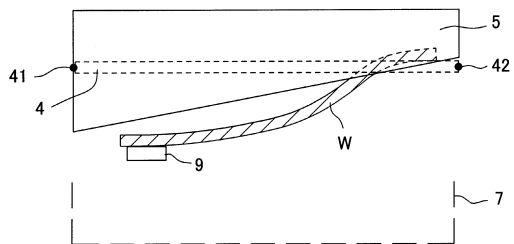
【図 9 B】



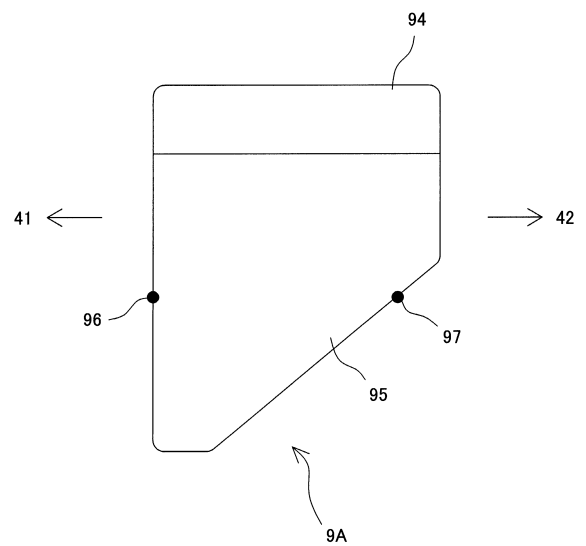
【図 10 A】



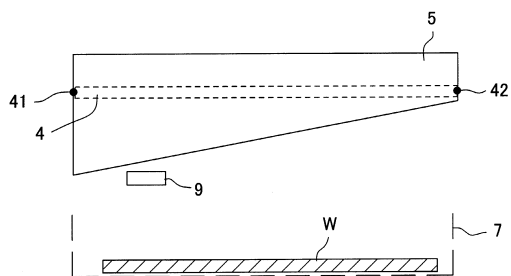
【図 10 B】



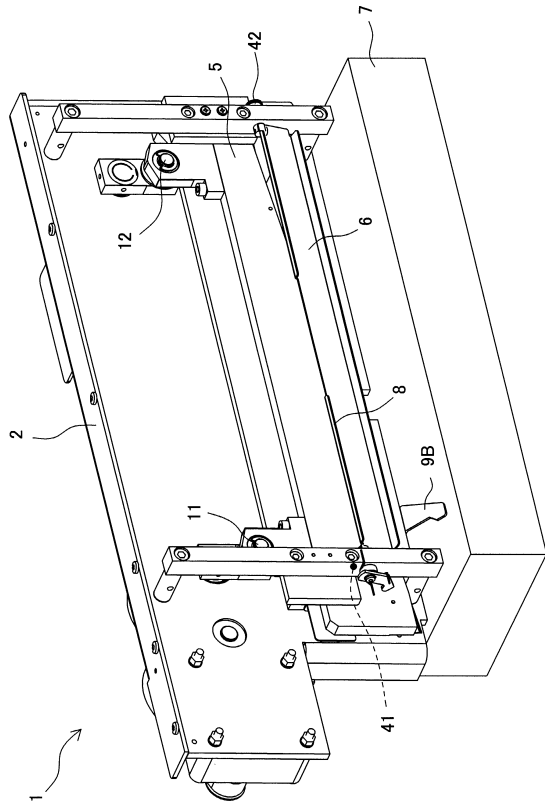
【図 11】



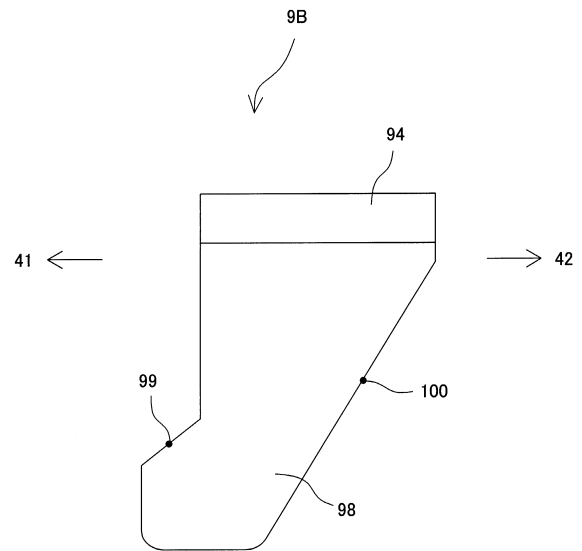
【図 10 C】



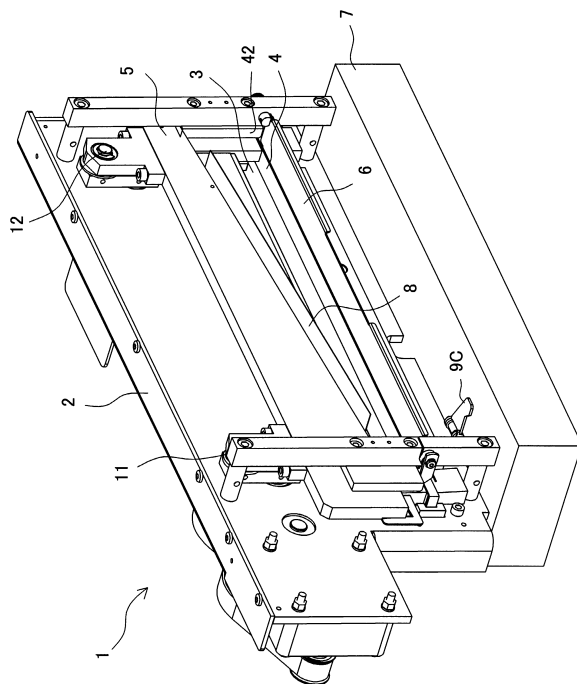
【図 1 2】



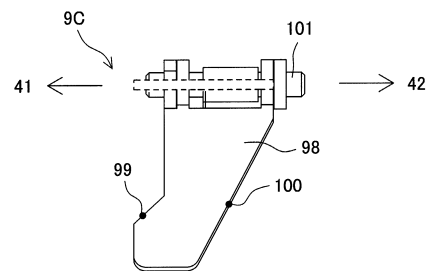
【図 1 3】



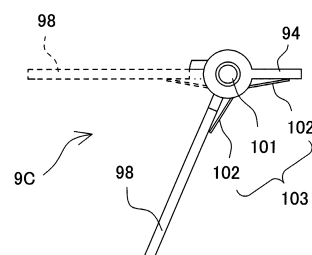
【図 1 4】



【図 1 5 A】

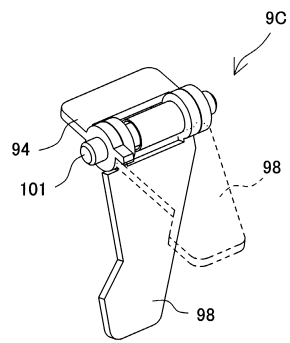


【図 1 5 B】

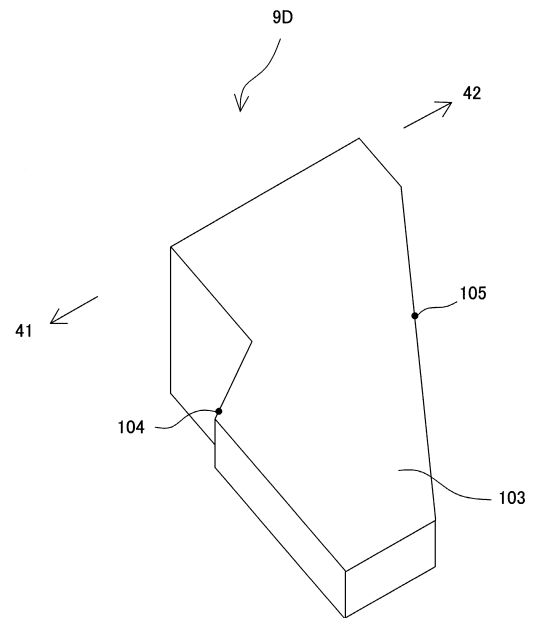




【図 15 C】



【図 16】



---

フロントページの続き

審査官 塩治 雅也

(56)参考文献 特開 2 0 1 0 - 2 4 7 2 3 7 ( J P , A )  
特開 2 0 0 8 - 2 3 8 3 9 4 ( J P , A )  
特開 2 0 1 2 - 1 0 1 3 4 7 ( J P , A )  
特開昭 5 7 - 1 8 9 7 9 7 ( J P , A )

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B 名)  
B 2 6 D 7 / 1 8  
B 2 6 D 1 / 0 8